

昭和五十三年十二月招集

第四回館山市議會臨時會會議錄

館山市議會

目次

日時	場所	出席議員	欠席議員	出席説明員	出席事務局職員	議事日程	開會	議長の報告	會議録署名議員の指名	会期の決定	議案第五十一号乃至議案第五十三号	提案理由の説明	渡辺軍治郎君の質疑、当局の応答(議案第五十一号)	委員会付託の省略(決)	採	委員会付託の省略(議案第五十二号)	採	渡辺軍治郎君の質疑、当局の応答(議案第五十三号)	辻田実君の質疑、当局の応答(決)	委員会付託の省略(決)	採	本日開会の決議に付した事件
一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	三	四	四	四	四	五	五	五	七	七	七

昭和五十三年十二月五日(火曜日)午前十時

館山市役所議場

出席議員 二十九名

一番 吉田 勇治郎

二番 伊藤 幸太郎

三番 穴戸 寿夫

四番 押元 稔

五番 黒川 平治

六番 鈴木 正義

七番 本間 昭二

八番 松下 正己

九番 鈴木 稔

一〇番 流山 源次郎

一番 近藤 好雄

一二番 栗原 一雄

一三番 林 豊

一四番 石井 輝久

一五番 辻田 実

一六番 安西 益男

一七番 石井 武敏

一八番 渡辺 軍治郎

一九番 渡辺 昭夫

二〇番 和田 一郎

二二番 五十嵐 昇

二三番 菊井 敏博

二四番 西村 真次

二五番 伊賀 多朗

二六番 藤田 益治

二七番 遠山 ヨネ子

二八番 石井 正

二九番 望月 照正

三〇番 山口 康

欠席議員 一名

二一番 田中 禄郎

出席説明員

市長 半澤 良一

助役 小倉 澄男

収入役 長谷川 廣治

総務部長 鈴木 弘道

経済部長 太田 博雄

水道課長 庄司 利光

教育委員長 関 和雄

教育委員長 安田 豊作

一、出席事務局職員

事務局長 高尾 豊 事務局長補佐 石井 敏夫
書 記 兵藤 恭一 書 記 鈴木 哲
書 記 庄司 徹 書 記 福田 英雄

二、議事日程

昭和五十三年十二月五日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

議案第五十一号 工事請負契約の締結について

議案第五十二号 昭和五十三年度館山市一般会計補正

日程第三 予算(第四号)

議案第五十三号 昭和五十三年度館山市水道事業特別

会計補正予算(第一号)

開 会 午前十時十三分開会

○議長(吉田勇治郎君) 本日の出席議員数二十九名、これより昭和五十三年第四回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長(吉田勇治郎君) 本臨時会議案審議のため、地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がございましたので御了承願います。

議案の配付

○議長(吉田勇治郎君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長(吉田勇治郎君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

一三番議員林 豊君、一八番議員渡辺軍治郎君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長(吉田勇治郎君) 日程第二、会期の決定を行います。

本臨時会の会期につき議会運営協議会の意見は本日一日ということであります。

お諮りいたします。会期を本日一日と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって会期は本日一日と決定いたしました。

議案の上程

○議長(吉田勇治郎君) 日程第三、議案第五十一号乃至議案第五十三号の各議案を一括して議題といたします。

議案第五十一号 工事請負契約の締結について

議案第五十二号 昭和五十三年度館山市一般会計補正予算（第四号）

四号）

議案第五十三号 昭和五十三年度館山市水道事業特別会計補正

予算（第一号）

提案理由の説明

○議長（吉田勇治郎君） これより各議案の提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに急遽第四回市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には御多忙のところを御出席賜りまことにありがたく存じます。

今回、急施を要する案件として御審議をお願いいたします案件は、工事請負契約の締結に係るもの一件、補正予算二件であります。

まず、議案第五十一号工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

今回、市長須賀百三十七番地館山市立第二中学校内に建設しようとする館山市営市民体育館新築工事に係る指名競争入札を市内業者五社、市外業者七社、計十二社によりこの十一月二十八日に執行しましたところ、一億二千九十万円をもって株式会社石井工務店が落札しましたので、同社と工事請負契約の締結をしようとするものであります。

工事内容としては、玄関ホール、更衣室、用具庫、放送室、

体育室、トレーニングフロア、便所を備えた鉄骨造平家建千二百三十一・五一九平方メートルを市民体力づくりの場として広く利用するため、明春三月三十一日までに建築しようとするものであります。

次に、議案第五十二号館山市一般会計補正予算第四号についてでありますが、歳入歳出それぞれ五千二百一十三万三千円を追加し、歳入歳出それぞれ六十五億七千六百八十五万三千円としようとするものであります。

今回の補正は、商工費といたしまして、商工会館建設に係る国庫補助金の歳入及び歳出の追加であります。館山商工会議所が建設する商工会館に対する補助金はすでに内示額が提示されておりましたが、設計が決定せず、したがって国からの補助金も定額ではありませんが流動的であることが示唆されておりました関係で、予算措置等もでき得ない状態にありました。今回、その額も決定されましたことから、館山商工会議所において行入札前に補正予算の決定が必要となりましたので、急遽追加補正をお願いする次第であります。

次に、議案第五十三号館山市水道事業特別会計補正予算第一号について御説明申し上げます。

今回の補正は、水道事業特別会計中、収益的支出の予定額を二千二百二十六万六千円を追加し、総額を四億一千五百七十一万五千円としようとするものであります。

御案内のとおり、今年夏からの異常ともいえる日照り続きで、現在作名ダムの有効貯水量は十二月四日現在七万五千立方メートルで満水時の約一二・七％までに減少し、このままの状態が続く

ますと、五十四年三月には送水不能となる見込みであります。

この漏水対策として、準用河川作名川より一日当たり約四千立方メートルを取水し、作名ダムに貯水しようとするもので、その内容としては、総額三千二百四十万円により、延長一千三百メートルの仮設配管をし、今月末日には通水を開始して、現在の漏水状態を解消いたしたく、緊急上程いたした次第であります。

以上、提案理由について御説明申し上げましたが、いずれの案件も急務を要するものでありますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わります。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で提案理由の説明を終わります。

質 疑 応 答

○議長（吉田勇治郎君） これより各議案の審議を行います。

まず議案第五十一号工事請負契約の締結についての御質疑を願います。

○一八番（渡辺軍治郎君） 説明では、十二社の入札によって行われたようですが、最高価格と最低価格、それから予定価格についてお知らせ願いたいと思います。

○総務部長（鈴木弘道君） 最高価格でございますけれども、一億二千九百九十五万円でございます。最低価格が落札者の一億二千九十万円でございます。

予定価格のほうは、これは性質上御勘弁願いたいと思います。

——予定価格の関係につきましては、これは公表すべきものではございませんので、この席上での回答は御勘弁願いたいと思います。

す。

○一八番（渡辺軍治郎君） 大体予定価格との差はあまりないということですか。

○総務部長（鈴木弘道君） 差はわずかでございます。

○議長（吉田勇治郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終わります。

委員会付託の省略

○議長（吉田勇治郎君） お諮りいたします。

本案を委員会付託並びに討論を省略し、採決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。

採 決

○議長（吉田勇治郎君） 採決いたします。

本案を原案どおり可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

委員会付託の省略

○議長（吉田勇治郎君） 次いで、議案第五十二号昭和五十三年度館山市一般会計補正予算についての御質疑を願います。

御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

本案を委員会付託並びに討論を省略して採決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。

採 決

○議長(吉田勇治郎君) 採決いたします。

本案を原案どおり可決するに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

質 疑 応 答

○議長(吉田勇治郎君) 次いで、議案第五十三号昭和五十三年度館山市水道事業特別会計補正予算についての御質疑を願います。

○一八番(渡辺軍治郎君) 作名川の水をくみ上げるわけですが、いま農閑期だから農業用水には差し支えないと思うんですが、これはいつごろまで大体予定しているのか。もし農業用水が必要な時分になると、問題が出てくると思うんですが、そのへんはどういうふうにお考えになつてゐるのかお伺いします。

○水道課長(庄司利光君) 今度の異常渇水によります作名ダムへの下流河川からのくみ上げにつきましては、農業用水に使われない時期ということでございまして、この工事をできるだけ早く完成しまして、一月から三月までということを予定しているわけでございます。

○議長(吉田勇治郎君) 他に御質疑ございませんか。

○一五番(辻田 実君) この施設については一月から来年の三月までということでございますけれども、仮設配管の状況、性質というんですか、どの程度のものなのか。この三月の期間を過ぎた後は使えなくなってしまうようなものなのか。せっかく三千万使うわけでございますから、今回の異常渇水対策のみに設備される施設のものなのか。ある程度二年なり三年なり長期的に継続して使えるような施設なのか。その点についてまず第一点お伺いたいわけでございます。

ここから取るところの取水量については、何ていうんですか、ここでもって計算すれば、一日四千立方メートル取るわけでございますから、これを百日かければいいわけでございますけれども、その量というのは施設費との割合について、金額的に換算して、どのくらいになるのか、計算されておりましたら、四十万トンですか、結局、の、あれはトン数計算すると幾らぐらいになるのか。この点について計算ができておればひとつお伺いしたい。

このことは、三千万と四十万トン、これとの差でもってどのくらいかということを一応参考までに聞いておかないと、えらい高い水を買うのか、安い水なのか、その点についてお伺いしたいわけでございますので、その点について計算されている範囲でお答えいただきたいと思います。

○水道課長(庄司利光君) 仮設備の配管につきましては、あくまでも一月から三月までということでございますので、仮配管はいたしますけれども、これが将来恒久的に使うということにつきましては水利権者等の了解が必要なのでございますけれども、そ

ういうものを含めまして今度の臨時的な水利権者からの水を取水することについて内諾というものは得てございます。そういうことで、恒久的に、その施設をつくるという場合にその配管は使えるということでございます。

それから、今回の取水で、一日四千立方メートルということでは四十万トン取水できるという計算が出てくるわけでございますけれども、その湧水対策には、現在その水源を、河川の水を使用する以外にはから取るという方法はちょっとないわけでございますので、そういうほかとの単価的なものについての計算はしてございません。四十万トンについて三千二百四十万かかるということとでございますので、一トンにつきまして計算上げまあ八十円ということになるわけでございます。

○一五番（辻田 実君） この点については、はっきりさせていたいただきたいところは、今回の水利権をめぐる問題として、何ていうんですか、三カ月間というものにしたのか。これは話し合いによつては農閑期にまた来年も再来年もということを見越してのものなのか。何かいまの答弁でございすると、使えば先へ行って使えるということですけども、何か三カ月間の使い捨てのような感もするわけでございますから、あくまでもこの際は水利権の問題さえ解決すれば長期的にいくのかどうか。トン八十円ぐらいということでございますから、そんなに高い水ということになりませんけれども、しかしながら四十万トンの水よりも、三千二百万を掛け捨てのようなかっこうになったんではちょっとどうかと思えますけれども、こちらへんのところをもうちょっと明確に、あいまいのようにございましたけれども、施設はあくまでも使え

るような態勢でつくって、あとは話し合いを進める、こういうことなのかどうか。こういう点を明らかにしていただきたいと思えます。

○市長（半澤良一君） 今回のこの作名川から水をくみ上げようとというのは、御説明申し上げましたように、現在の作名ダムの有効貯水量が七万五千立米メートルでございまして、このまゝいきますと来年の三月には送水不能になるという異常事態でございますので、当面その異常事態を解消するためにこうした緊急措置をとりたいということでございます。

三千二百万ほどかかるわけでございますが、そのうち管の分については約二千五百万でございまして、残りの送水ポンプ等はリースでこれを借りてやるということでございますので……。

水利権の問題につきましても、当面この湧水対策のために水を利用させていただきたいということで、水利権者と話し合いをつけたわけでございます。

御指摘のように確かに二千五百万という管は今後館山市の水道の財産として残るわけでございます。これにつきましては将来の問題として、こういうような事態が必ずしも将来起こらないとは断言できないわけでございますので、今後この異常対策を、緊急対策を終りましたあとで検討いたしたいというふうに考えております。もちろん、それにつきましては、御指摘のように水利権の問題がからんでおりますので、そうした問題について今後検討いたしたいと考えております。

○議長（吉田勇治郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

委員会付託の省略

○議長（吉田勇治郎君） お諮りいたします。

本案を委員会付託並びに討論を省略して採決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。

採 決

○議長（吉田勇治郎君） 採決いたします。

本案を原案どおり可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前十時三十三分閉会

○議長（吉田勇治郎君） 以上で本臨時会に付議されました案件は議了されました。よってこれにて第四回市議会臨時会を閉会いたします。

○本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

二、会期の決定

三、議案第五十一号乃至議案第五十三号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会議員 吉 田 勇 治 郎

館山市議会議員 林 豊

館山市議会議員 渡 辺 軍 治 郎

